

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【公開番号】特開2008-248240(P2008-248240A)

【公開日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2008-041

【出願番号】特願2008-56266(P2008-56266)

【国際特許分類】

C 08 G 18/58 (2006.01)

C 08 L 75/04 (2006.01)

C 08 L 63/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/58

C 08 L 75/04

C 08 L 63/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月24日(2012.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

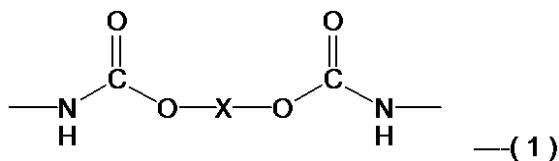
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

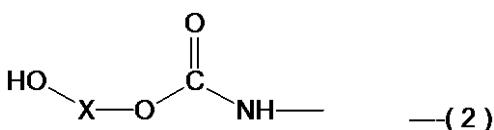
【請求項1】

下記一般式(1)および/または下記一般式(2)で表される構造を有するポリウレタン樹脂(A)と、エポキシ樹脂(B)と、フェノキシ樹脂(C)とを含有することを特徴とする熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【化1】



【化2】

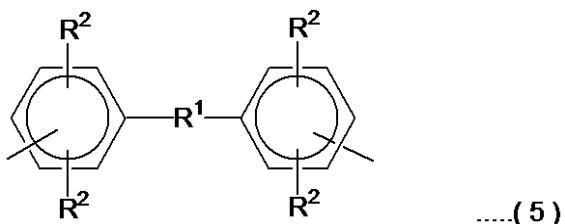


(式中、Xは1分子中に2個以上のフェノール性水酸基を有するフェノール系化合物から2個のフェノール性水酸基を除いた残基を示す。)

【請求項2】

前記一般式(1)および/または一般式(2)中のXが一般式(5)、一般式(7)および一般式(9)で示される構造の群から選ばれる一種以上の構造である請求項1記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【化3】



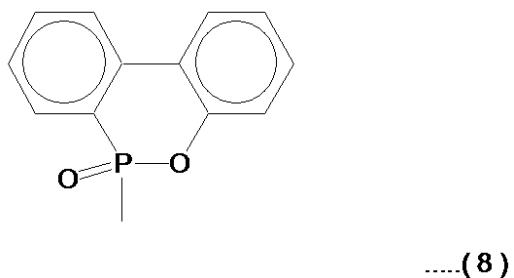
(式中 R¹ は、直接結合あるいは2価の連結基であり、R² は同一でも異なっていても良く、水素原子または炭素原子数1～18のアルキル基を示す。)

【化4】

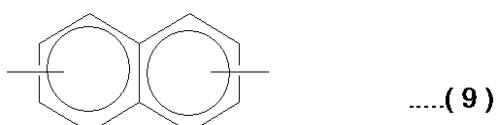


(式中 R³ は、水素原子または炭素原子数1～18のアルキル基または下記一般式(8)で示される構造を示す。)

【化5】



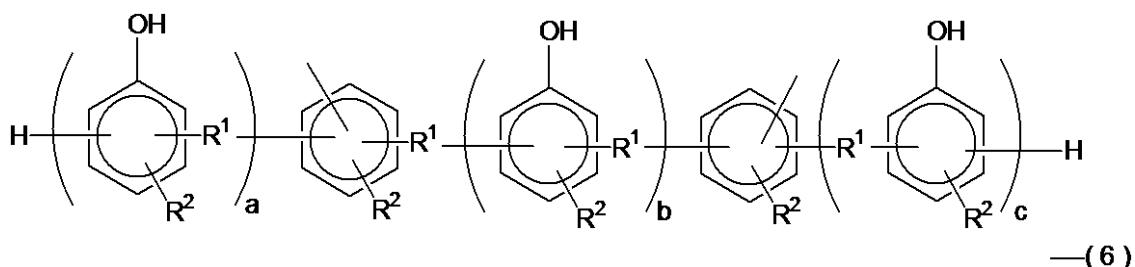
【化6】



【請求項3】

前記一般式(1)および/または一般式(2)中のXが一般式(6)で示される構造である請求項1記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【化7】

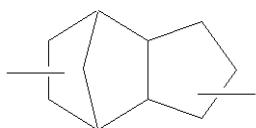


(式中 R¹ は、直接結合あるいは2価の連結基であり、R² は同一でも異なっていても良く、水素原子または炭素原子数1～18のアルキル基を示す。aとbとcとの合計は1以上である。)

【請求項4】

前記一般式(6)中のR¹がメチレン基および/または下記一般式(11)で示される構造である請求項3記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【化8】

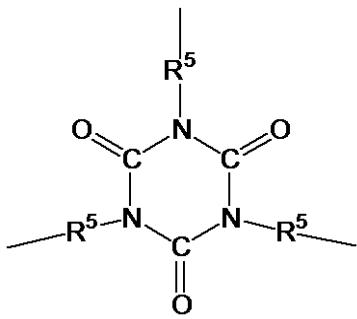


—(11)

【請求項5】

前記ポリウレタン樹脂(A)が下記構造(15)にて分岐している請求項1記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【化9】



....(15)

(式中R5はジイソシアネート化合物からイソシアネート基を除いた残基構造を示す。)

【請求項6】

前記エポキシ樹脂(B)が芳香族系エポキシ樹脂である請求項1～5のいずれか1項記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【請求項7】

前記芳香族系エポキシ樹脂がノボラック型エポキシ樹脂である請求項6記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【請求項8】

前記フェノキシ樹脂(C)がビスフェノールS骨格またはナフタレン骨格を含有するフェノキシ樹脂である請求項1～5のいずれか1項記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【請求項9】

前記フェノキシ樹脂(C)がビスフェノールS骨格およびナフタレン骨格を含有するフェノキシ樹脂である請求項1～5のいずれか1項記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【請求項10】

前記フェノキシ樹脂(C)が更にビフェニル骨格を含有するフェノキシ樹脂である請求項8または9に記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【請求項11】

前記フェノキシ樹脂(C)が重量平均分子量5,000～200,000のフェノキシ樹脂である請求項8～10のいずれか1項記載のポリウレタン樹脂組成物。

【請求項12】

硬化触媒を含有する請求項1～5のいずれか1項記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。

【請求項13】

更に、ウレタン化触媒を含有する請求項1～5のいずれか1項記載の熱硬化性ポリウレタン樹脂組成物。